

1 基本情報					
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要			
武蔵野の公園グループ		(指定管理者名) 西武・武蔵野パートナーズ			
		(団体の概要) 代表者：西武造園株式会社			
指定期間		構成員：ミズノスポーツサービス株式会社、NPO法人NPO birth、			
H28.4.1 ～ R5.3.31 (7年間)		一般社団法人防災教育普及協会			
2 施設名		3 収支(単位:千円)			
武蔵野公園、浅間山公園、野川公園、狭山・境緑道、玉川上水緑道、武蔵国分寺公園、東伏見公園、六仙公園			令和4年度	令和3年度	令和2年度
		項目	金額	金額	金額
		収入 計	595,893	502,489	522,356
		内訳			
		指定管理料	595,893	502,489	522,356
		利用料金	0	0	0
		その他収入	0	0	0
		支出 計	595,893	502,489	522,356
		収支差	0	0	0
4 管理運営の概要					
公園利用の可能性をさらに広げる視点「CHANCE IN THE PARK」を掲げ、①「より多くの人々と新たな連携を進めるチャンス」、②「公園を使ったライフスタイルやコミュニティを広げるチャンス」、③「次世代へつなぐ誇りと愛着を育むチャンス」の3点に重点的に取り組んだ。チャンス①を実現するために、野川公園を中心に、武蔵野エリアを回遊しながら地域の緑・水・歴史の魅力を発見する「第18・19回森の地図スタンプラリー」を共同開催。ラリーポイントとしての協力、デジタルスタンプラリーのシステム管理、近隣施設と連携したモデルツアーの企画調整と運営への協力など、当スタンプラリー企画の内容の充実に欠かせない中間支援の役割を担った。また、武蔵国分寺公園では、地域の若者グループと初連携し、選挙の投票を応援する展示企画を行った。公園との連携をきっかけに市内全域を巻き込んだ選挙クエストも実現し、ウェブサイトでSNS、市内店舗・施設でも公園の取り組みがPRされた。国分寺市の投票率は前回の参院選より5.4%アップし全国3位（前回12位）となり、社会課題である投票率の向上に貢献するとともに公園の魅力発信や利用促進につなげることができた。チャンス②を実現するために、「きのこ」「野鳥」をテーマに、公園の楽しみ方を発信する「おさしのパークライフマガジン」を2種合計12000部発行。長年公園で活動するボランティア団体との対談や、冬期に実施している野鳥観察マナーアップキャンペーンとの連動企画を実施。地域のコミュニティカフェでの展示などの初連携も実現し、武蔵野自然の魅力や公園の取組の周知を進めることができた。チャンス③を実現するために、急速に拡大したナラ枯れ病の複合的な対策を継続。短期対策では、危険度を判定して優先順位をつけた伐採や、専門家との協働で設置したトラップによる原因昆虫の駆除、中期では地域協働での動植物モニタリングを実施。長期では、府中市や国際基督教大学などと連携した市民参加型森づくりを実施することで、伐採更新に加え、実生更新も進め、公園への愛着も育むことができた。枯死木の伐採や市民協働によるトラップ設置を、中期対策では東京農工大学の4公園でのブナ科樹木の全木調査結果を踏まえた伐採更新計画の策定を、長期対策では市民参加型森づくりイベントを開催し、都市に残る雑木林環境を次世代に継承する取組を推進した。					
5 管理状況（維持管理）					
1. 生物多様性の保全に配慮した維持管理の実施 東京都の生物多様性向上に貢献するため、協働によるナラ枯れ対策と水辺再生に注力した。東京農工大学と協働で4公園のブナ科約2000本を全木調査でナラ枯れ被害を把握し、複合的な対策を実施。短期対策として、トラップ設置で原因昆虫を約50万匹駆除し、感染拡大を防止。危険度により優先順位をつけて枯死木を伐採した。中期対策として動植物モニタリングを実施。ナラ枯れの昆虫など自然への影響を判定。浅間山公園保全管理ガイドライン改訂などに活用する。長期対策として、府中市や国際基督教大学との連携で市民参加型森づくりを継続し、公園への愛着も育んだ。武蔵国分寺公園の「武蔵の池再生プロジェクト」で水辺再生の大きな成果が表れた。専門企業とのプランクトン調査に基づき、水質改善と多自然型護岸の創出に尽力した。同池の最大目標の一つ「絶滅危惧種カイツブリの繁殖」が初成功。また、絶滅危惧種ホシハジロを初確認するなど、冬鳥の種数・個体数が倍増。来園者の憩いの場にもなり、エコロジカルネットワークを強化できた。希少種データベースは全部で148種となった。 2. 利用者の安心、安全な利用を支える維持管理の実施 公園情報を一元管理するために独自開発した「パークモニタリングアプリ」を継続運用し、日常の作業の記録の他、要望箇所や不具合箇所の即時報告、データの蓄積を行い、迅速な対応に努め、利用者の安全性のほか快適性の維持、向上に繋げた。日常的に公園の維持管理を行っている維持管理スタッフには、全公園維持管理スタッフを一同に集めて実施する安全会議を年三回開催した。各回では草刈作業、園内での車両運転、脚立を用いた剪定作業など、維持管理業務の根幹となる作業での事故0件を目指して、座学だけでなく実践形式を用いた形で講習を実施し、スタッフの維持管理作業における安全意識と技術の向上を図った。					
6 利用者アンケート結果					
実施方法：公園内で調査票を配布・回収					
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の応対
武蔵野公園	4.8	4.5	4.5	4.4	4.6
浅間山公園	4.7	4.5	4.5	4.5	4.7
野川公園	4.8	4.8	4.6	4.7	4.6
狭山・境緑道	4.6	4.3	4.2	4.2	4.4
玉川上水緑道	4.6	4.0	4.3	4.2	4.5
武蔵国分寺公園	4.7	4.7	4.5	4.5	4.6
東伏見公園	4.7	4.3	4.6	4.5	4.5
六仙公園	4.5	4.3	4.4	4.3	4.4
7 入園者数の状況（単位：人）					
施設名	当該年度	分析			
武蔵野公園	611,411	はらっぱ祭り等のイベント開催はあったが、コロナ禍以前より利用は減少した。			
浅間山公園	176,431	キスゲフェスティバルの開催で来園者が前年より増加した。			
野川公園	1,932,309	自然観察センター建替えに伴う閉館やコロナ禍での公園利用が減少した。			
狭山・境緑道	1,580,278	通行利用やジョギング等で日常は賑わっているが、コロナ禍当初よりは減少した。			
玉川上水緑道	501,671	駅周辺の利用者は多いが閑静な場所では少ない計測となり平均して減少した。			
武蔵国分寺公園	868,091	日常は賑わっているが、感染症の収束傾向と共に年間の利用者数は減少した。			
東伏見公園	1,057,467	日常の利用者は増加傾向にあるがコロナ禍当初ほどの増加はなく減少した。			
六仙公園	307,296	イベント等の開催により日常の賑わいはあるがコロナ禍当初より減少した。			
合 計	7,034,953				



都立武蔵野公園

所在地：小金井市、府中市
開園面積：25.6ha

< マネジメント目標（武蔵野公園パークマネジメントプランより） >

- ・ 民間活力の導入による新たな魅力を持った都立公園
- ・ 地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・ 東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・ 多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
- ・ スポーツによる健康づくりの場となる都立公園

公園特性

- 春には、**約40種・600本のサクラ**が園内を彩る。
自由に散策ができる園場がある
桜マップの配布
- 苗圃では様々な木々が見られる。
- 武蔵野の**原風景を感じさせる風情**が残る。
- 古くから**地域活動の拠点**として親しまれている。
はらっぱ祭り／わんぱく夏まつり等
- **武蔵野本来の林床生態系**が残る。
ニリンソウ群生地

ポテンシャル
分析

地域特性

- 園内中央には野川が流れ、北側には調整池を挟み**国分寺崖線が残る**。
- 「武蔵野夫人」等多くの**文学の舞台となった「はけの道」が北側に位置する**。
- はけの**地域特性を活かした、地域活動**が盛ん。
はけのおいしい朝市
地域情報雑誌「き・まま」

テーマ

武蔵野の面影が残る
多種の桜と苗圃がある公園

ALL
Parks

全公園で
展開した事業

3
Parks

管理所のある3公園で
実施した事業

With
コロナ

新型コロナウイルス感染拡大
防止対策として実施した事業

PDCAサイクル・OODAループを使い分け業務効率化を図った取組

1 効果的な思考法による維持管理を確立！

3- ③No.2,7,11,23

公園管理においては**不測の事態への対応**や**管理技術**の要求を求められ、状況に合わせた解決方法、技術力が必要となる。
じゃぶじゃぶ池のポンプ故障が発覚し、既存ポンプの納期が夏の稼働に間に合わない問題に対しては、**発想3の転換と即決行動で解決（OODAループ）**。植栽剪定やトイレ衛生など管理技術をスタッフ間で持続させていくための課題には**プラン策定から評価の流れを継続する方法で成果に繋げることができた（PDCAサイクル）**。

OODAループの柔軟かつ迅速な対応で問題解決！

既存ポンプの故障。受注生産により
納期6カ月後…ピンチ！？



PDCAサイクルによりスキル向上と共有・持続化を実現！

【緑地管理】



【技術力の継承】



【SDGs】



【花壇管理】



健康促進やスポーツへの興味・関わりを増やすきっかけづくりの場を提供！
「チャレンジキャラバン」を開催！

3-② No. 40,44,46,50,69,70

スポーツ総合イベント「チャレンジキャラバン」を開催。**東京2020大会のレガシー継承の取組**として様々な運動プログラムや測定会を実施し、参加者が自身の「からだ」を知り**健康な体づくりへの意識を高めること、各種教室を通してスポーツへの興味や関心を持つきっかけにしてもらうことの良い機会の場となった。**

親子で触れ合いながらスポーツ体験

▶親子で参加できるスポーツプログラムを5種類実施。**日々の健康づくりや運動への興味・関心を増やすきっかけ**となった。



親子DEバランスボール教室の様子（武蔵野公園）

障がい者スポーツ体験プログラム

▶国分寺市スポーツ振興課と連携し、ボッチャ体験コーナーを設置。実際に体験してもらうことで**障がい者スポーツの普及に寄与**した。



ボッチャを体験し魅力を感じた様子（武蔵国分寺公園）

アスリートクリニック～走り方教室～

▶国際大会出場経験のある講師を招いて開催。**より専門的かつ実践的な内容で実施し、子ども達の運動意欲を高めることができた。**



アスリートが子どもたちに直接指導（野川公園）

桜再生プロジェクトここに完結

3 咲き誇る桜の名所復活へ！後継樹の苗木定植完了

3-② No.17 3-③No.13

平成28年度より7年間取り組んできた「桜再生プロジェクト」は、**土壌診断～園内桜の穂木採取・接ぎ木～既存木の土壌改良～樹幹診断**を経て、令和4年春に6年間育苗した苗木を園内に展示。さらにプログラム『陽春の武蔵野公園桜の観察会』にて、サクラ再生の取組を来園者に紹介した。

令和4年冬にはサクラ後継樹の苗木を園内各所に定植。苗木は高さ約1メートルに成長し、「野川」と「武蔵野公園の桜」の調和した景観を意識し、野川沿いに6本定植。遊具広場のサクラ並木に1本、野川北側に3本合わせて**10本定植することができた。**その他樹幹診断結果を踏まえた剪定、衰弱木回生のため植物活力素の樹幹注入、打込肥料を施し、樹勢回復に取り組んでいる。



「小金井桜守の会」の接ぎ木作業に参加

6年後



令和4年春「桜の観察会」にて育てた苗木をお披露目



維持管理スタッフによる定植作業

完成！



武蔵野公園の桜への想いを未来へ繋げることができた！

維持管理PDCAサイクル

学校連携による自然環境調査体験プログラムを継続実施

3-② No. 16, 17

▶中央大学付属高校と連携し、調査体験プログラムを継続。調査のプロセスを、計画、調査、報告の一連の流れでプログラム化した。公園のリソースやパークレンジャー常駐の強みを活かし、**ニーズを捉えたターゲティングプログラムを展開。**自然環境保全の担い手を育成でき、**身近な公園に残る自然環境の重要性**も実感してもらえた。



調査の基本を学ぶ座学の様子



専門技術を用いた昆虫調査の様子

長年の課題解決の取組

畑の適正利用化！国際基督教大学との連携で地域性種苗の育成の場に！

3-② No. 30, 87, 88 3-③ No.17

【武蔵野公園の畑の状況】

約20年前の前管理者管理期間中、自治体の事業に畑を貸与。事業終了後も4つの市民団体に畑の利用が継承され、一部不適切利用が発生していた。当団体が指定管理を開始して以降は、関係各所と対話を重ね、活動計画・報告による活動状況の把握など適正利用化を図っている。

▶国際基督教大学と協働で**ナラ枯れ後の後継樹育成プロジェクト**を継続。除草と間引きを実施し、園内採取した苗木を健全に育成。近隣公園にも補植できる**地域性種苗**育成の場とした。長年の畑の課題解決と、長期的な森づくりを同時に進めることができた。

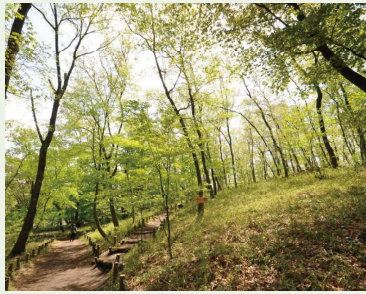


藤沼研究室と連携して除草と間引きを実施

その他の取組 ※()内は様式16号の該当番号

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施(1)
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映(1)
- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施(2)
- ・農工大と連携したナラ枯れ全木調査の実施(4)
- ・サクラプロジェクト(5)
- ・鳥類のモニタリングで絶滅危惧種初確認(6)
- ・パークモニタリングアプリの運用(7)
- ・防災学習会の実施、防災マップの発行(13)

- ・レンジャーミニ図鑑とセルフガイド/タブレットガイド(20)
- ・スポーツコーディネーターによるスポーツ教室(20)
- ・PLAYBOOK/パークライフマガジン/公園まちガイドマップ(23)
- ・BBQオンライン予約システムの運用(23)
- など



都立浅間山公園

所在地：府中市
開園面積：8.8ha

< マネジメント目標（武蔵野公園パークマネジメントプランより） >

- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園

公園特性

- 全国で唯一のムサシノキスゲの自生地である他武蔵野の面影を残す動植物が豊か。
- 公園懇談会「浅間山を考える会」を定期開催。市民団体や自治体、大学等で構成。
- 浅間神社、おみたらし神社、人見四郎の墓跡、富士見百景などの歴史的文化資産がある。
- 毎日の散歩に訪れる利用者のほか、花の見ごろの時期には遠方より来園するナチュラリストも多い。

ポテンシャル
分析

地域特性

- 多摩の台地が古多摩川等で削られ、残った小高い丘が浅間山となった。
- 公園東側に隣接した多磨霊園、近隣の府中の森公園、東京農工大学の緑地がある。
- 近隣に保育園、小学校や高校、大学があり、環境教育の場として活用されている。

テーマ

武蔵野の生物多様性の
保全モデル

公園の魅力や自然の豊かさを多くの方に知ってもらう取組

1 産官学民、協働型の雑木林管理・生物多様性保全を更に推進！

3-② No.3,31 3-③ No.15,16,18,20

浅間山のより良い姿を考える公園懇談会「浅間山を考える会」と、そこで策定した「浅間山公園保全管理ガイドライン」を軸に、協働型の保全管理を継続。SDGs目標のひとつである「パートナーシップで目標を達成しよう」を視野に入れた先進的な公園づくりを進めた。

「浅間山を考える会」の実施

16-No.30

【浅間山を考える会】

浅間山で活動する地域の様々な主体のうち、中核を担う団体により結成された会議体。保全、活用、管理、専門家等多様な立場の人が一堂に会して意見交換を行い、浅間山公園のより良い姿を考えるための場となっている。

■構成団体（8団体）：浅間山自然保護会/府中野鳥クラブ/浅間山ウォーキングクラブ/東京農工大学植生管理学研究室/府中市生活環境部環境政策課/府中市都市整備部公園緑地課/東京都建設局西部公園緑地事務所/西武・武蔵野パートナーズ（事務局）

- ▶自然環境保全や施設整備、イベント運営、調査研究などあらゆる事業について、連携・協働で進めるべく年4回協議を実施。

「浅間山公園保全管理ガイドライン」に基づき、産官学民さまざまな立場の意見を取り入れ、理想の将来像の実現に向けて、公園づくりを進めた。

- ▶園内を歩きながら浅間山の魅力や今後の課題を洗い出す「現地確認会」を実施。課題の優先順位を話し合い、迅速な対応につなげた。今年度は、階段を浅間山の景観に合わせて修繕した。



調査結果やイベント報告を全体で確認し、より良い公園の姿について議論を深めた



関係者全体で現場を確認し、課題を抽出優先順位をつけて迅速な対応につなげた

「浅間山公園保全管理ガイドライン」に沿った保全管理

16-No.6

【浅間山公園保全管理ガイドライン】

浅間山の雑木林管理・生物多様性保全に関わる産官学民様々な主体が、共通目標を持って活動に取り組むための技術的指針を示したガイドライン。



- ▶浅間山の多様な動植物について把握するため、関係団体と協働でのモニタリング調査を継続実施。
- ▶浅間山を考える会の構成団体に対して、ガイドライン講習会・安全管理講習会を実施。関係団体のスキルアップと知識向上の機会を提供した。



雑木林作業の際の安全管理や、ガイドラインの内容について、パークレンジャーがレクチャー

全山清掃を3年ぶりに再開

16-No.22

- ▶浅間山で40年以上活動している市民団体のひとつ、浅間山自然保護会と協働で、地域の小中学校などを受け入れ、「全山清掃」を3年ぶりに再開。のべ204人が参加し、外来植物の選択的除草などを実施。浅間山を地域全体で保全管理を進める気運を醸成した。



生徒会の自発的ボランティア活動の呼びかけで有志の学生が集まった浅間中学校の全山清掃

公園の利便性向上を目的とした取組み

2 快適空間を創出！既存トイレ改修と園路整備

3-③ No.11

東京都整備工事により西側にトイレが新築されたことに伴い、既存トイレのアメニティ向上・快適空間づくりを目的とした改修工事を実施した。建築物環境衛生管理技術者によるトイレ診断の結果より、洋式便器化、ペーパーホルダーの更新等の助言があり、さらに掃除用具入れの収納性向上や扉を内開き化に統一し均整の取れたトイレ空間に変えることができた。その他園路ぬかるみ改修、階段の土砂流出改善し、利用者の利便性向上に寄与する改修工事ができた。



『トイレ診断』の様子。利用者目線に立ち外観と機能面から改修方法を検討



扉の改修、便器の洋式化、ペーパーホルダーの更新など利便性が大幅にアップ!!



階段の土砂流出防止の工事により子どもや高齢者も安心して歩けるようにした



山側からの流水によるぬかるみ対策は水はけを確保しつつ歩行可能な施工で解決した

質の高いサービスを提供するための具体的な取組

3 子供から大人まで幅広い年代が自然を楽しめるイベントを協働で実施！

With コロナ

3-② No.3,16,17,19,24 3-③ No.20

多様な動植物が生息・生育する浅間山の豊かな自然環境について、魅力発信・普及啓発を行うイベントを、産官学民様々な主体と協働で実施。浅間山の自然を楽しむイベントを充実化すると共に、地域で環境保全を行う気運を更に醸成できた。

キスゲフェスティバル 16-No.20

- ▶ ムサシノキスゲなど浅間山の魅力を伝えるイベントとして、「浅間山を考える会」で協議を重ね企画実施。3年ぶりの現地開催。
- ▶ コロナ禍でも安心して楽しめるよう、分散開催型のプログラムを中心に展開。前回の4倍以上となる5,881人が参加した。



見ごろを迎えたムサシノキスゲを目的に多くの来園者で賑わった

冬鳥の観察会 16-No.20

- ▶ 野鳥観察で賑わう冬期、全公園展開の普及啓発イベント「野鳥観察マナーアップキャンペーン」と連動して実施。40年以上活動する府中野鳥クラブを講師に迎え、4年ぶり開催。
- ▶ 備品貸出の際は接触を抑えるなど感染対策を徹底した。協働で作成した「府中市域野鳥マップ」を新規配布し好評を得た。



多摩霊園から浅間山にかけて、ベテラン講師の解説で、じっくりと野鳥観察

森キッズDAY 16-No.30

- ▶ 親子で一緒に自然を楽しみ学ぶ企画として、府中市との協働で多様なプログラムを展開。
- ▶ 森の自然素材を浅間山で集めてクラフトを楽しむ「クラフトDAY」を3年ぶりに再開。
- ▶ ナラ枯れ対策として実施した市民参加型苗木づくりイベントのフォローアップ講座「木(こ)育て相談会」も好評。



ボランティアのガイドで雑木林の素材を集め、世界に一つだけのオリジナル作品が完成!

4 地域連携による短・中・長期対策でナラ枯れに負けない森づくり

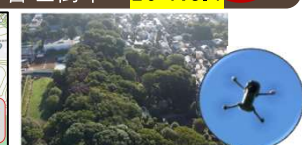
3-② No.3 3-③ No.15,17,20,維持管理樹木

ALL Parks 16-No.4

拡大するナラ枯れ対策を地域連携で実施。専門家との連携による4公園約3,000本の全木調査と、ドローンによる広域調査を継続。被害状況を詳細に把握し、短期・中期・長期の複合的対策を実現。



ブナ科樹木全てをGISで記録 ドローンで周辺も含めた拡大状況を把握



短期対策 16-No.5

- ▶ 調査結果から優先順位を決定し、枯死木を伐採。
- ▶ 周辺被害が大きい公園で、トラップ設置。502,200匹捕獲。感染拡大を防止!



原因になる昆虫を捕らえ、感染拡大を防止(浅間山・武蔵国分寺)

中期対策 16-No.6

- ▶ 植物、チョウなどのモニタリングを協働で実施。ナラ枯れの環境への影響を判定。
- ▶ 多様な樹種が見られる若木中心の雑木林を目標にするなど、ガイドライン改訂に活用。



植物や昆虫などの調査結果をもとに、ナラ枯れ影響を評価

長期対策 16-No.22

- ▶ 府中市(浅間山)やICU(武蔵野)などと連携し、市民参加型森づくりを継続。
- ▶ 次年度の植付に向けて、のべ150本の苗木育成をフォローアップ。



植替法などの管理をパークレンジャーがレクチャー

その他の取組 ※()内は様式16号の該当番号

- ・犬のマナーアップキャンペーンの実施(1)
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映(1)
- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施(2)
- ・市民参加型パークモニタリングシステムの運用(2)
- ・園内清掃回数昨年度比1.5倍(3)
- ・農工大と連携した植生移植試験(6)
- ・パークモニタリングアプリの運用(7)
- ・森の地図スタンプラリー(20)
- ・レンジャーミニ図鑑とセルフガイド/タブレットガイド(20)
- ・イベント「ちょいボラDAY」での池の清掃(22)
- ・ボランティア安全管理講習&ガイドライン講習(22)
- ・PLAY BOOK/パークライフマガジン/公園まちガイドマップ(23) など



都立野川公園

所在地：調布市、小金井市、三鷹市
開園面積：40.3ha

< マネジメント目標（野川公園パークマネジメントプランより） >

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
- ・こどもたちの健やかな成長の場となる都立公園

公園特性

- 武蔵野地域の8公園を**統括する公園**。
- 公園の前身であったゴルフ場を思わせる**大芝生**と季節の自然を楽しめる**大きな樹木群**が魅力。
- 園内には**野川**が流れ、公園北側には**国分寺崖線の斜面緑地**が隣接。
- はけの道の自然を観察できる**自然観察園と自然観察センター**がある。
- 自然観察園、自然観察センターでは、**約100名のボランティアが保全活動**を実施。

ポテンシャル
分析

地域特性

- 近隣に武蔵野公園、武蔵野の森公園、多磨霊園、国立天文台、国際基督教大学などの**大きな緑地が位置**する。
- 東八道路が園内を東西に横切り、西側には**西武多摩川線**が通る。
- アメリカンスクール、国際基督教大学、東京外国語大学などが近隣にあり、外国人の住民が多い。

テーマ

ここに集まる・ここから広がる
武蔵野の自然と文化

New!

1

公園の魅力や自然・文化の豊かさを全国・海外の方に広く知ってもらおうチャンス

インターナショナルスクール2校との新規連携が実現！
保全活動体験プログラムを実施、ボランティア活動の受け皿を拡充！

3-② No.17,30,75,87

『コロナ禍で学外イベントがなかなか実施できず困っている』という各学校の教員の声を受け、パークコーディネーターが公園での環境教育プログラムを提案。既存のAmerican School in JapanやInternational Christian University とのプログラムに加え、**インターナショナルスクール2校との新規連携**が実現した。自然環境の継承に欠かせない保全活動の体験プログラムを、**英語**で実施し、**生物多様性・生態系・外来種**など近年話題のトピックについて、活動を通して学んでもらうことができた。また、**地域で一丸となって公園の自然を守り育てる取組**を推進することができた。

Christian Academy in Japan との 「外国語プログラム」

International Christian University 高校との 「ちょいボラDAY」

▶パークレンジャーが日本語、パークコーディネーターが英語に通訳する形で、自然観察園など野川公園の施設や、国分寺崖線など周辺の自然について**ガイドウォーク形式**で紹介。また、**ばったランド**で繁茂している**「オオブタクサ」「ヤブガラシ」「コセンダングサ」**の特徴について解説。バッタ類が好むイネ科の植物が育つよう、これら3種類の**選択的除草**を実施してもらった。

▶遊具広場付近に繁茂していた外来種**「ワルナスビ」**の除去作業を実施。作業前には、ワルナスビを除去する理由（①繁殖力が強く他の植物を淘汰してしまうのを防ぐという**生態的な理由**、②ワルナスビのトゲで来園者が怪我をしてしまうのを防ぐという**安全面の理由**）を伝え、**目的意識を持って**作業を実施してもらった。



ばったランドとそこで見られる生きものについて
日本語と英語で解説

保全活動のようす



パークレンジャーがワルナスビの生態や
除去方法・除去理由について解説



除去したワルナスビと一緒に
集合写真

参加者の声

- ・ My favorite part of the program was when we got to take weeds out from grasshopper island and searched for grasshoppers!
(訳) ばったランドで除草して、バッタ探しをしたのが一番楽しかったです！

参加者の声

- ・ 外来種のもたらす影響を知識だけでなく目で見て学べました。
- ・ 今まであまりボランティア活動に参加したことがなかったので、新しい世界を知ることができました。

パークコーディネーター常駐の強みを活かしたボランティア機会の創出

2 コロナ禍での活動をマネジメント！ボランティア活動を活性化！

With
コロナ

3-②No.28,31

パークコーディネーターが多様なボランティアニーズを的確に捉え、感染状況に合わせてきめ細やかに対応。イベント運営方法や安全管理対策等について提案し、ボランティアと協議の上、講座やイベント等の活動再開が実現した。

対面での応急手当講習を実現！

- ▶ボランティアからの要望で、対面での講習再開を検討・調整。3年振りに実現。コロナ禍での救急法等を学び、活動中の安全管理や緊急対応への意識をさらに高めることができた。



応急手当普及員の資格を持つパークレンジャーが担当



AEDの使い方を学ぶボランティア

植物観察会を再開！

- ▶ボランティアが運営する「植物観察会」の再開を願う問合せが多数あり、ニーズに応えるため検討・調整。3年振りにイベントを再開し、ボランティアが再び活躍できる場を創出することができた。



子どもにも好評！自然解説を行うボランティア

スキルアップ機会の提供！

- ▶ボランティア向けに安全管理講習を実施。安全に活動をする基礎知識について、オリジナル動画も用いて解説。ボランティアの知識や技術向上を行い、安全に活動する基盤を築くことができた。



ポイズンリムーバーの使い方を練習

3 非接触型プログラムを開催

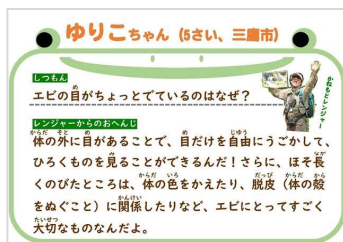
With
コロナ

3-②No.16

- ▶感染症拡大状況に合わせ、非接触型の教育プログラムを継続実施。公園や身近な自然についての質問を、メールや直接投函で募集し、パークレンジャーが公園ブログで回答。さらに展示ホールにも回答を掲示。withコロナに対応したプログラムが定着し、多様な形で自然へのいざなう方法を確認。参加者は昨年度の2.5倍



イベントのチラシ



参加者の質問に関する回答シート

4 スズメバチへの対策を実施

3-③ No.1

発生抑制用のトラップ

- ▶女王バチを捕獲することで公園内に作られる巣の数を減らすことができた。ハチが減り安心したという来園者からの感謝の声をいただいた。



ペットボトルに酒や砂糖を溶かした液体を入れ樹木に設置

樹洞内に作られるハチの巣対策

- ▶木の洞に巣が作られることが多いため、網で塞ぎ営巣数を減らすことができた。園路に近い樹木を中心に設置し、利用者への安全性を高めた。



網戸用のネットを設置

5 自然観察園内の木道劣化補修

3-③ No.1,11



施工前



施工後

- ▶木道の劣化箇所が81か所発見されたため、特に危険性のある箇所から補修作業を行った。自然観察園利用者の安全を確保した。

その他の取組 ※()内は様式16号の該当番号

- 犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施 (1)
- Pdcaサイクルによる苦情要望分析と反映 (1)
- ランドスケープパトロール実施 (2)
- 農工大と連携したナラ枯れ全木調査の実施 (4)
- パークモニタリングアプリの運用 (7)
- 防災学習会の実施、防災マップの配布 (13)
- 森の地図スタンブラー (20)
- レンジャーミニ図鑑とセルフガイド/プレットガイド (20)

技術・能力向上の取組み

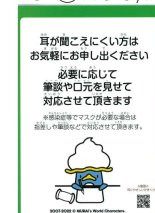
6 スタッフの基礎的知識の習得と専門知識の向上

3-①No.5,7



基本研修の様子

- ▶基本研修では「法令・コンプライアンス」「接遇」「個人情報保護」「安全・衛生」「人権・差別」などの基礎知識を習得。ユニバーサル研修では耳の遠い方へのコミュニケーション方法を学び、専門知識が向上した。



耳が聞こえにくい方へのご案内

ALL
Parks

など



都立狭山・境緑道

所在地：西東京市、東村山市
小平市、東大和市
開園面積：8.4ha

< マネジメント目標（狭山・境緑道パークマネジメントプランより） >
・水と緑のネットワークを形成する都立公園

公園
特性

- 多摩湖から境浄水場までの水道施設の上を走る**10.5kmの緑道**。
- 花の季節には、様々な樹種により彩りも鮮やか。
- 一方で、**近隣住民からの剪定要望への対応**等が課題である。
- 緑道ガーデンパートナー制度**により、住民による花壇づくりを促進。
- 多摩湖自転車歩行者道と並走**している。

ポテンシャル
分析

地域
特性

- 緑道西部は**西武線に隣接**しており、通勤通学の利用者も多い。
- 夏には小平エリアにて灯籠を市民が持ち寄る「**灯りまつり**」が開催される。
- 4市にまたがって**住宅地を貫き、地域住民の憩いの空間として親しまれている。
- 都立狭山公園や東村山中央公園、小金井公園、市立の**公園緑地をつなぐ緑道**であり、ウォーキングやサイクリングの利用も多い。

テーマ

みんなでつなぐ
グリーン&ガーデンロード

都民や東京都からの要望への対応

1

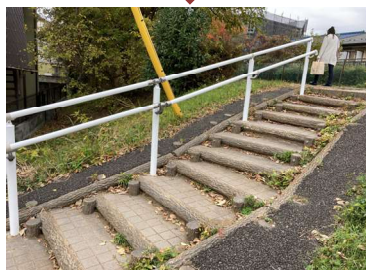
多様な要望に対応し、安全で安心な緑道へ

3-③ No.11,27,46 16-No.2,5,13,14

年間150件を超える要望内容は多種多様で、その中でも越境枝・日照・落葉・不法投棄・防犯に関するものが多く、その1つ1つに対して柔軟に対応を行っている

安全性向上の為に手すりを設置！

- ▶利用者の**安全性向上**の為に階段に手すりを設置した。設置後は多くの方から「**とても使いやすくなった、ありがとう**」などの**感謝の声**を頂いた。



近隣の高齢者などは、更に緑道を利用しやすくなった

支障木の剪定で利用者から賛辞の声！

- ▶民地へ越境し、日差しを遮っていた樹木の剪定を実施。越境の他、見通しが改善され**防犯効果**を高めることができた。**周囲が明るくなった**ことで、利用者から「**見通しが良くなった**」「**明るくなった、ありがとう**」などの**感謝の声**を頂いた。



大径木を強剪定することで、倒木の危険性を回避するだけでなく、日照を確保することができた



枝を少なくし、樹高を低くすることで日照を確保でき、利用者にも好印象を持ってもらうことができた

地域団体などと連携した指定管理者としての管理運営の方針

2 近隣ボランティアと地域住民と協働でより良い緑道づくりへ

3-② No.1, 10 3-③ No.3, 32

近隣ボランティアや地域住民と定期的なヒアリングや情報交換の場を設けることで、施設改善点の早期発見やサービス向上につなげ、協働でより良い緑道づくりを進めた。

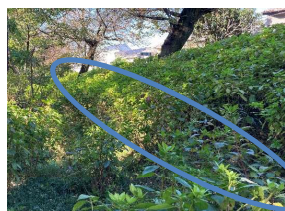
New!

ボランティアの要望に応え土留を新設！

- ▶緑道斜面でアジサイ管理をしている「こだいら観光まちづくり協会」所属のボランティアから、活動時の安全確保と土の流出を防ぐため、土留設置の要望を受けていた。パークコーディネーターと維持管理スタッフが連携して、設置規模など検討を重ね、土留を新設。設置後すぐに、ボランティアから喜びの声を頂いた。



土留設置希望の理由等
現場でボランティアにヒアリング



施行前



施行後

小彼岸桜の会

- ▶緑道の緑化保全に伴い、東京都と協議の上、市民団体と協働で樹木の補植作業を実施。その他、日常の植栽管理について情報交換、現場確認や剪定作業など協働し推進できた。



沿道にコヒガンザクラを植栽する市民団体

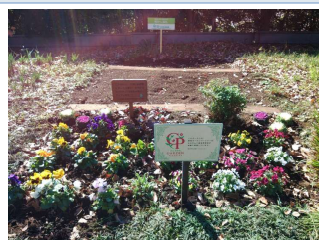
3 市民と共に魅力あふれる緑道づくりを確立する取組 緑道ガーデンパートナー制度を継続運用

3-② No.5,31,83

【緑道ガーデンパートナー制度】住宅や店舗が面している緑道内で、ガーデニングを希望する住民と協定を結び、適正利用を促しながら魅力ある緑道づくりを行うための制度。



ガーデンパートナーとの話し合い



ガーデンパートナーの花壇

- ▶ガーデンパートナーの更新時にパークコーディネーターが要望をヒアリング。グリーンアドバイザーの資格を持つスタッフが花壇づくりのアドバイスをし、活動を推進した。

4 質の高いサービスを提供するための具体的な取組 韓国語の緑道パンフレットを作成！

ALL Parks

3-② No.21,27,34,77,78,80,82



東京観光情報センター多摩でも
新たに緑道の韓国語版を配布



むさしの都立公園8公園
のパンフレットが充実

- ▶4か国語目になる韓国語版パンフレットを作成。多言語情報の充実により、ユニバーサルサービスの向上を実現。
▶新規の配架先として国際学生宿舎へ配布。インバウンド対応だけでなく、在日外国人へも緑道の魅力をPR！

5 効果的な情報発信、公共交通機関との広報連携 西武鉄道ウォーキングイベントと連携

3-② No.26,27,78 16-No.21



パンフレットを手にする参加者の様子



参加者へ緑道の見どころを案内

- ▶西武鉄道イベント「ウォーキング&ハイキング東伏見公園から、狭山・境緑道を歩く！」に約1,300人が参加。
▶パンフレットを配布したことで、多くの方に公園の魅力が伝わり、参加者からも大好評。

6 公園や地域の魅力向上につながる取組 近隣施設と連携したプログラムを実施

3-② No.17,74



小金井公園から緑道に連動する緑地の
大切さを解説



馬の背の生物多様性について解説

- ▶「森の地図スタンプラリー」と同時開催で、「むさしの散策モニターツアー」を実施。コースは、会場である小金井公園から緑道までの横断的なガイドを実現。周辺の歴史や自然など幅広い魅力を発信することができた。アンケートでは満足度100%で大変好評だった。

その他の取組 ※()内は様式16号の該当番号

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施 (1)
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映 (1)
- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施 (2)
- ・施設点検の徹底と改修作業による施設の長寿命化 (2)
- ・市民参加型パークモニタリングシステムの運用 (2)
- ・生物多様性スポットの運用 (6)
- ・パークモニタリングアプリの運用 (7)
- ・狭山・境緑道保全活用ガイドラインの作成 (12)
- ・むさしのキッズチャレンジ等動画の配信 (20)
- ・レンジャーミニ図鑑とセルフガイド/タブレットガイド (20)
- ・PLAY BOOK/パークライフマガジン/公園まちガイドマップ (23)
- ・都市公園制定150周年事業への協力 (32)

など



都立玉川上水緑道

所在地：福生市、昭島市
立川市、小平市
三鷹市、武蔵野市、杉並区
開園面積：14.7ha

< マネジメント目標（玉川上水緑道パークマネジメントプランより） >

- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・自然とふれあえる場となる都立公園
- ・独自の魅力づくりに取り組む都立公園

公園特性

- 多摩川の羽村から四谷大木戸までの43kmに及ぶ玉川上水に沿って造られた緑道で、杉並区浅間橋から福生市の平和橋までの**24.4kmが開園**されている。
- 古くから多摩・武蔵野エリアの人々に親しまれ、平成15年には、羽村取水口より下流地域が**国の史跡に指定**された。
- 一方で、**老木化した樹木対策や園路のぬかるみ対策**など、保全面と快適性の確保が課題。

ポテンシャル分析

テーマ

都市に潤いをもたらす
水と緑のグリーンライン

地域特性

- 玉川上水と周辺の自然と文化を守る**市民活動が盛ん**。
- 小金井公園、井の頭恩賜公園などの公園緑地をつなぐ緑道であり、**ウォーキングの利用も多い**。
- 近隣には、小・中・高および大学が多く隣接し、JRや私鉄各線の駅が近いので、**通勤・通学のための利用が多い**。
- 小金井橋を中心とした約6kmは**小金井桜の名所**として知られ、大正13年には国の名勝指定も受けた。

1

子供から大人まで楽しめるむさしのの魅力発見スタンプラリー

ポストコロナに向けて、初のリアル×デジタル同時開催でスタンプラリーが実現！

ALL Parks With コロナ

3-②No.2,17,19,60,74,76

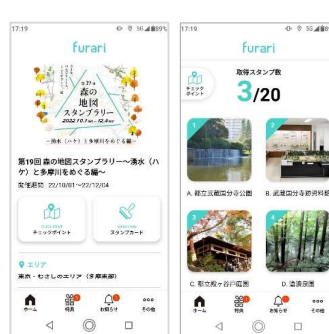
- ▶武蔵野エリアを回遊しながら地域の緑・水・歴史の魅力を発見する「**森の地図スタンプラリー**」を、春と秋に開催した。春は「玉川上水とその周辺を訪ねる編」、秋は「湧水（ハケ）と多摩川をめぐる編」と題して実施。コロナ禍で中止していた**リアルスタンプラリーを再開**し、好評の**デジタルスタンプラリーも継続**することで、多様なニーズに応えることができた。デジタルスタンプラリーは、**2回とも参加者が1000人を超え**、大盛況となった。
- ▶西武・武蔵野パートナーズは、実行委員としての協力・デジタルスタンプラリーのシステム管理・武蔵野エリアを周遊する同時開催のモデルツアーの企画調整と運営への協力を行うことで、当スタンプラリー企画の内容の充実に欠かせない**中間支援**の役割を担った。今後も、**パークコーディネーター**が関係者に働きかけを行い、**SDGs目標**のひとつである「**パートナーシップで目標を達成しよう**」を視野に入れた当スタンプラリー企画の拡大・展開を目指す。



広報ポスター（春）



広報ポスター（秋）



デジタルスタンプラリーのシステム構築もパークコーディネーターが担った



同時開催「むさしのの散策モニターミニツアー」のようす（春）



デジタルスタンプラリー実施における細かな調整をオンラインと対面の両方で行った



パークレンジャーがいざなう武蔵野の自然堪能ネイチャープログラム

2 コロナ禍のニーズに沿ったレンジャープログラムを開発！



3-② No.16

緑道沿いに隣接する小学校と連携し、**with コロナに対応**したレンジャープログラムを開発。**デジタルコンテンツの活用**や、**非接触到に配慮したプログラム**を企画し、環境教育の幅を広げることができた。

緑道に隣接する学校とオンラインで遠隔連携！

- ▶ 緑道に隣接する小学校と**初連携**。事前打合せを重ね、事前レクチャー・課外学習・フィードバックまで行うプログラムを新たに共同開発。パークレンジャーが担当の「事前レクチャー」を**ライブ配信で実施**。電子化した公園オリジナル図鑑も活用するなど、**デジタルコンテンツを活かし、環境教育の幅を広げる**ことができた。



公園からパークレンジャーがライブ配信



ライブ配信の様子



スライドショーで自然を紹介

年間総合学習プログラムを再開

- ▶ 連携10年以上になる近隣の小学校とのプログラムを、打合せを重ねた上で**3年ぶりに実施**。各自でプログラムに取り組めるよう非接触到に配慮。観察や調査を段階的に行うことで、身近にある**緑地保全の重要性を伝える**ことができた。生徒から「身近な緑を大切にしたい」等の声が多数あった。



パークレンジャーによる解説



牟礼園地の自然を調査する生徒達

適切な維持管理を行うための取組

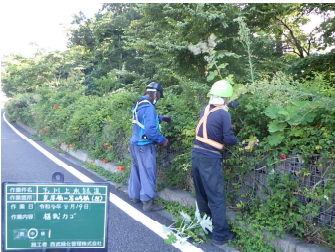
3 安全の確保と快適性の向上を進める維持管理

3-③No.1, 11

福生市から杉並区までの約24.4kmの区間で**専任の緑道キーパー**が定期巡回を実施。**支障の発見と要望への迅速な対応**を行っている。高木の支障や施設の不備などに対しては、安全と快適性の観点から適切な計画を立てて改善を施している。

放射5号線沿いの支障解消

- ▶ 緑道に隣接する自動車道への草やツルの繁茂、樹木の枝の越境を防止し、**通行の安全を確保**した。



繁茂した雑草を手抜き除草



越境枝も剪定した作業後

いこい橋での段差防護柵の設置

- ▶ 段差の落下防止の柵を設置するに際しては、**景観を整えることにも配慮**して擬木柵を使用した。



防護柵がない状態の作業前



鉄板を擬木柵に交換した作業後

都民の健康増進への取組

4 ノルディックウォーキング教室を開催！

3-②18,49, 70

- ▶ 専用のポールの使い方や効果的な歩き方をレクチャー。
- ▶ 秋の緑道の風景を楽しみながら約5kmの距離を歩き、玉川上水緑道の魅力を伝えると共に**参加者の健康づくりに寄与することができた。**



緑道の風景を楽しみながらウォーキング

5 地域との連携による相乗効果でさらに魅力向上！

3-② No.17

- ▶ **地域イベントと初連携**し、ネイチャーガイドを実施。
- ▶ 緑道を含む地域の自然や歴史・文化の魅力を、**地域イベントとの相乗効果ですらに向上**させ、多くの方に堪能してもらうことができた
- ▶ 連携団体から、イベントで1番好評だったと声があった



パークレンジャーが緑道の魅力を解説

その他の取組 ※()内は様式16号の該当番号

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施(1)
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映(1)
- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施(2)
- ・市民参加型パークモニタリングシステムの運用(2)
- ・玉川上水緑道保全活用ガイドラインの運用(6)
- ・むさしのキッズチャレンジ(20)
- ・スポーツコーディネーターによるスポーツ教室(20)
- ・レンジャーミニ図鑑とセルフガイド/タブレットガイド(20)
- ・多言語パンフレットの発行(21)
- ・PLAYBOOK/パークライフマガジン/公園まちガイドマップ(23)
- ・ナラ枯れ対策の水道局との連携(30)
- ・都市公園制度制定150周年事業への協力(32)

など



都立武蔵国分寺公園

所在地：国分寺市
開園面積：11.5ha

< マネジメント目標（武蔵国分寺公園パークマネジメントプランより） >

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・自然とふれあえる場となる都立公園
- ・独自の魅力づくりに取り組む都立公園

公園特性

地域特性

- 南側は、**国分寺崖線**につながる野鳥の森、木々に囲まれた広場が落ち着いた雰囲気。北側には外周500mの**円形広場**と水景施設からなる開放感のある空間が特徴。
- 国分寺の魅力再発見をテーマに、市内のカフェやギャラリー、大学等が連携して開催する**「ぶんぶんウォーク」が毎年秋に開催**され、公園がメイン会場となっている。
- 武蔵野の天平史跡群の中に位置**し、まち歩き観光者や自然散策者が多く訪れる。

ポテンシャル
分析

- 旧国鉄の「中央鉄道学園」等の跡地を整備してつくられており、周辺地域は**埋蔵文化財包蔵地に指定**されている。
- 周辺には「武蔵国分寺跡」や「お鷹の道」、「真姿の池」などの**名所、旧跡が点在**している。
- 公園周辺には集合住宅が立ち並び、**感度の高い子育て世代が多く、地域活動が盛ん**。

テーマ

歴史・文化と水のまち
“むさしのパークライフ”の提案

「あったらいいな」をみんなで作る公園プロジェクト

1 地域みんなの「あったらいいな」を続々実現！地域の想いをカタチにする公園づくり

3-②No.7,32,38,41,43,53,55,78 16-No.23

【「あったらいいな」をみんなで作る公園プロジェクト】

公園をもっと魅力的な場所にするために、公園に「あったらいいな」とワクワクすることを市民と共に実施するプロジェクト

年間延べ14,992人が参加！

New!

こくフェス（うくフェス）

- ▶「音楽に触れる機会や発表できる場を作ることまちを元気にしたい」という**地域の声から生まれた音楽イベントを初開催！**
- ▶ウクレレの演奏を楽しみながら、ヨガやフラダンス、キャンプ気分を味わえるワークショップに参加できるイベントを企画。ハワイアンフードを提供するキッチンカーによるカフェ空間をつくり、ゆったりとした雰囲気を演出。
- ▶市民団体との調整を重ねて新たな「あったらいいな」を実現し、**アーティストの発表の機会や、市民活動の実現の機会**を創出！



ウクレレ演奏とフラダンスのステージ



演奏を楽しみ観客



工作ワークショップの参加者



ヨガのワークショップ

てのわ森の中美術館2022

- ▶作家グループとコラボし**アート作品を屋外展示**。週末には**地域の作家によるクラフト&ショップ**を開催。
- ▶アーティストによるクイズラリーの実施、直接触れられる作品の展示など、**全世代参加型のアートイベント**が実現！
- ▶西武鉄道と連携した**西武沿線4駅へのポスター掲示**により、イベントの集客に繋げるとともに公園の認知度向上に寄与した。



手で触れられる作品が大人気！



クイズラリーを楽しむ来園者

イベントの満足度
100%を達成！



Sunday Park Cafe

- ▶多世代交流を促しコミュニティを生み出すイベントを継続的に実施。
- ▶地元パン屋「パンピック号」と、地元産野菜のメニューを提供する「こくページ」に加え、**子どもの居場所づくりに取り組む市民団体「おもしろ食堂」との初連携が実現！**
- ▶市民企画による週替わりのワークショップを実施。**老若男女問わず幅広い世代**に楽しんでもらうことができた！

コロナ禍を経て
3年ぶりの開催！



市民団体との初連携によるキッチンカーの出店

ボランティア機会の創出

2 協働・ボランティアの輪が地域に拡大・浸透！

3-② No.30,87,88 16-No. 22

投票率No.1プロジェクト

- ▶ 地域で活動する若者グループと初連携し、選挙の投票を応援する展示企画を行い、**社会課題の一つとされる投票率向上に貢献**！
- ▶ 公園との連携をきっかけに、**市内全域を巻き込んだ選挙クエストも実現**し、各所で投票を促すキャンペーンが行われた。取組はメディアなどでも取り上げられ注目を集めた。
- ▶ 同プロジェクトのウェブサイトやSNS、市内施設等でも公園の取り組みがPRされ、**公園の利用促進**にもつながった。



選挙に関するクイズに挑戦する子ども

サービスセンターの展示スペースを活用して投票所の案内や優待を受けられる施設を紹介

ニーズに応じたボランティア機会の提供

- ▶ **ボランティアイベント**に市民が参加し、花壇をお手入れ！
- ▶ デイケア、障害者施設、企業など5団体の**日常的なボランティア**を受け入れ。
- ▶ イベントにて地域住民・学生のボランティアが受付を担当！
- ▶ 隣接するリオン(株)の**新規CSR活動**がスタート！ベンチ・看板清掃や、閉鎖管理地のササ刈り・落葉掻きを実施。
- ▶ **中学校やボランティア活動センターとの協働**により、パークレンジャーによる自然解説を交えてはったランド内のセイタカアワダチソウの除草を実施！



花の植え替えを楽しむ親子

近隣企業によるササ刈り

中学生によるセイタカアワダチソウ除草

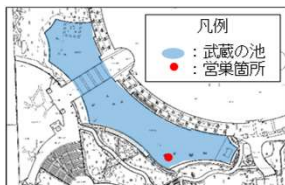
生物多様性スポットの保全管理と絶滅危惧種の回復

3 「武蔵の池」再生プロジェクトにより武蔵の池が水鳥の憩いの場に！

3-②No.88 / 3-③No.15,16,17,18 16-No.6

絶滅危惧種の繁殖を初確認

- ▶ 平成27年より開始された「**武蔵の池**」再生プロジェクトによる、大規模清掃や植栽柵の改善、埋土種子再生などにより、武蔵の池の**水辺環境を大幅に改善**した。
- ▶ 今年度は**外来種の選択除草**による植物帯の質向上に力を入れたほか、**プランクトン解析**による水質改善など、継続的な取り組みを行い**環境保全を推進**した。
- ▶ 池の環境から最大の目標の一つにしている**絶滅危惧種のカイツブリの営巣・巣立ちを初確認**。良質な水辺のみで行われる本種の繁殖がプロジェクトの成果で実現！



営巣箇所位置図（武蔵の池）



環境改善を施した植栽柵周辺に営巣



カイツブリの親鳥と雛（2個体の巣立ちを確認）



初確認したホシハジロ



マガモの飛来数が倍増

希少な冬鳥の飛来を確認

- ▶ 冬季には**絶滅危惧種ホシハジロの飛来を初確認**した。その他の冬鳥として、**オナガガモ(初確認)**、**マガモ(過去最大個体数)**、**オシドリ(絶滅危惧種)**など飛来する**種数・個体数が倍増**！希少なカモ類を多数確認し、武蔵の池の環境改善の成果があらわれた。

公園の魅力向上と利用促進を図るための取組

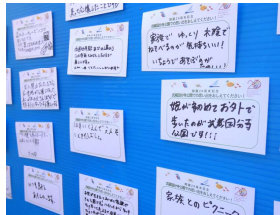
4 公園開園20周年を地域の方々とともに祝い！

3-②No.17,19,23,24,41,56,64,67,88 16-No.20

- ▶ 地域のデザイナーと連携し、**公園開園20周年記念のロゴを作成**。
- ▶ ロゴをあしらったミニエコバッグを、地域の一大イベント「ぶんぶんウォーク」のキャンペーン参加者に記念品としてプレゼント。**地域の方々とともに開園記念をお祝いし、公園への愛着を育むことができた！**



公園で見られる生きものや植物が描かれたロゴデザイン



ぶんぶんウォーク内で公園の思い出を書いてくれた方にミニエコバッグをプレゼント



公園オリジナルの記念品が大好評！

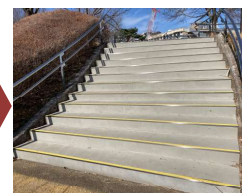
5 事故を未然に防ぐための安全対策
老朽化した階段を改修

3-③No.11,16,21 16-No.2

- ▶ 老朽化した階段を改修工事。既設のステンレスよりも雨天時に滑りにくいゴムつきのノンスリップへ変更。施設の長寿命化とともに**利用者へ安全な環境を提供することができた。**



改修前



改修後

その他の取組 ※()内は様式16号の該当番号

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施(1)
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映(1)
- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施(2)
- ・農工大と連携したナラ枯れ全木調査の実施(4)
- ・パークモニタリングアプリの運用(7)
- ・防災学習会の実施、防災マップの配布(13)
- ・レンジャーミニ図鑑とセルフガイド/タブレットガイド(20)
- ・地域連携イベント「ぶんぶんウォーク」(20)
- ・キッズプログラム「あそぶの森」(20)
- ・掲示板改修/点字パンフレット貸出/オフィスカー(20)
- ・PLAYBOOK/パークライフマガジン/公園まちガイドマップ(23)
- ・都市公園制度制定150周年事業への協力(32)

など

都立東伏見公園

所在地：西東京市
開園面積：5.2 ha



< マネジメント目標（東伏見公園パークマネジメントプランより） >

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園

公園特性

- のびのびと体を動かせる多目的の広場が広がり、**西武鉄道を見下ろす展望の良い休憩施設**がある。
- 近隣に大きな広場を有する公園がないため、**地域の子どものための格好の遊び場**となっている。
- 一方で、利用者がふえ、安全管理や利用指導が課題。

ポテンシャル
分析

地域特性

- 特別緑地保全地区に指定されている**東伏見稲荷神社の森が隣接**し、緑豊かな景観を形成している。
- 公園南側には、石神井川が隣接し、**緑と水に恵まれた立地**にある。
- 公園北側には、東西の西武新宿線が隣接しており、**西武柳沢駅からのアクセスが良く**通勤通学のための通過利用も多い。

テーマ
緑と水に恵まれた
ヘルシーパーク

武蔵野地域の魅力発信プログラム

1 パークライフマガジンを継続発行！マナーアップキャンペーンとの連動も！

ALL Parks

3-② No.3,9,17,24,25,28,33,60,62,63

パークライフマガジンのこ特集好評！

16-No.21

- ▶「Park Life×きのこ」をテーマに**個性豊かなきのこを紹介**。
- ▶樹木と共生関係にあることや、木や葉を分解して土に戻すといった**きのこの生態や自然界での役割について図解で解説**。
- ▶公園で出会えるきのこの種類とその楽しみ方・注意点についても**パークレンジャーの視点から伝えた**。

New!

パークライフマガジン野鳥特集はマナーアップキャンペーンと連動！

16-No.20 (No.1,21,22?)

- ▶「Park Life×野鳥」をテーマに公園で見られる野鳥を特集。**パークレンジャーのイチオシの野鳥**を紹介すると共に、**長年公園で活動するボランティア団体との対談**の様子を掲載し、野鳥の楽しみ方について発信した。
- ▶野鳥観察が盛んになる冬期に野鳥観察マナーアップキャンペーンを実施。のぼりやパンフレットにより**マナー向上の気運を醸成**するとともに、パークライフマガジンやセルフガイドシートも併せて配布し、野鳥の魅力を伝えることができた。また、キャンペーンに合わせて、**地域のコミュニティカフェとの初連携が実現**。記事を活用し、野鳥や公園の取組に関する展示を実施。来店者からは「身近な公園に多くの野鳥がいると知った。ぜひ公園へ行ってみたい」といった声が寄せられた。



マナーアップキャンペーン中の配布の様子



地域のカフェで野鳥の魅力を発信！

マナー向上のためのキャンペーン

2

全公園で犬のマナー啓発！市民団体と合同クリーン運動も実施！

ALL Parks

3-① No.6 / 3-② No.9,33

のぼり設置やうんち袋の配布を通じて、地域の愛犬家にマナーアップ宣言のメッセージを積極的にPR。
犬のマナー啓発のためのWebサイト「PARK LIFE with DOGS」を活用し、オンラインによるマナー啓発を継続的に実施。

園内でのキャンペーンPR

16-No.1



園内にのぼりを設置・うんち袋を配布

市民団体との合同クリーン運動

16-No.22



市民団体と公園スタッフが合同で園内のゴミ拾いを実施

Webサイトを活用したキャンペーンPR

16-No.21



合同クリーン運動に参加した愛犬の写真を掲載

適切な維持管理を行う為の取り組み

3

年3回の安全会議を開催！
園内作業における安全性と技術が向上！

3-③ No.25

▶維持管理スタッフ向けに、草刈・車両・剪定といった園内作業に重点を置いた安全会議を開催した。各作業における手順や確認事項、過去の事故事例を共有し、安全意識と技術の向上を図った。



脚立の安全装置や使用方法の確認



車両の誘導方法の確認

都民の健康増進への取組

4

ヘルシーパークを推進！
のべ766人参加！各種スポーツ教室を開催！

ALL Parks

3-② No.16,18,47,70,71

▶スポーツコーディネーター常駐の強みを活かし、体を動かすことの楽しさ喜びを知ることが目的とした子ども向けのプログラムを中心に9種類・計107回開催し、ヘルシーパークの推進に寄与した。



～走り方教室～カッコいいフォームを皆で練習



～はらっぱスポーツ教室～楽しくボール遊び

公園の魅力向上につながる取組

5

公園を楽しむプログラムのDX化を促進！

With コロナ ALL Parks

3-② No.16,17,25,47,70

▶パークレンジャーとスポーツコーディネーターが生きものの観察や運動方法を紹介する動画「むさしのキッズチャレンジ」を継続開催。新規動画は、公園オリジナル冊子「公園を楽しむPLAY BOOK」と紐づけ、冊子内のプログラムをデジタル化し配信。総再生数は昨年の1.5倍となる1,500回を超え大好評！



公園オリジナル冊子と紐づけた新規動画



キッズチャレンジ動画

利用促進のための具体的な取組

6

効果的な情報発信！
公共交通機関との広報連携

3-② No.26,78 16-No.21

▶車両や駅のホームをイメージしたベンチが設置された新規開園地を紹介！
▶西武鉄道の沿線冊子、発行部数6万部「remo」をはじめ、発行部数4万部「かわら版」へ掲載。公園の魅力を広域的に発信！



西武鉄道 広報誌「かわら版」



西武鉄道情報誌「remo」

その他の取組 ※()内は様式16号の該当番号

- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映(1)
- ・施設点検の徹底と改修作業による施設の長寿命化(2)
- ・市民参加型パークモニタリングシステムの運用(2)

- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施(2)
- ・パークモニタリングアプリの運用(7)
- ・レンジャーミニ図鑑とセルフガイド/タブレットガイド(20)

- ・PLAYBOOK/公園まちガイドマップ(23)
- ・都市公園制度制定150周年事業への協力(32)

など



都立六仙公園

所在地：東久留米市
開園面積：5.0ha

- < マネジメント目標（六仙公園パークマネジメントプランより） >
- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
 - ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園

公園特性

- 芝生広場、みはらし広場等の原っぱと運動広場や健康遊具が設置された健康づくりゾーン、地下水が気持ち良い水景施設等が整備されている。
- 花壇ボランティアの活動による花壇の花々が来園者を温かく迎えている。
- 市民企画のイベント関係による地域の人々のコミュニティが再構築されつつある。

ポテンシャル分析

テーマ

湧き出す地域コミュニティ

地域特性

- 「水の森創造」をコンセプトに、武蔵野の原風景再現と、隣接する「南沢湧水地」の涵養地としての整備が進んでいる。
- 公園西側、および南側には住宅地や農地が混在し、地域住民の日常的な利用が多い。
- 小学校跡地という立地や、近隣に小中学校があることもあり、子どもたちの利用が多い。
(夏季に中学生の花壇ボランティア活動もある)

市民の提案を実現！「あったらいいなをみんなでつくる公園プロジェクト」

1 「麦の収穫祭～東久留米麦まつり～」を再開！地域住民を繋ぐコミュニティ形成の場を創出！

3-② No.1,8,32,53

- ▶地場作物「柳久保小麦」を通して地域の産業や伝統を知ってもらい、公園が地域住民を繋ぐコミュニティ形成の場となることを目的として、地域団体・市民と共に「麦の収穫祭～東久留米麦まつり～」を開催。キッチンカーや農作物・雑貨販売、歴史展示など、公園周辺で活躍する様々な団体・市民が一堂に集った。
- ▶新型コロナウイルス感染症拡大の影響で3年ぶりの開催となった今回は2,900人が参加。感染症対策として出店数や広報を制限したにも関わらず、感染症拡大以前に開催された同イベントの参加者数とほとんど変わらない数の参加があり、地域に待ち望まれたイベントであることが伺えた。



イベントチラシ



麦わらでできた案山子が参加者をお出迎え！



麦わらでできたヒンメリの装飾が施された



地域の飲食店や花卉農家等が出店



パンマルシェは開始早々多くの人で賑わった



柳久保小麦や収穫に使うコンバインを展示！



同時開催でパークレンジャーの自然解説も実施！

参加者の声

- ・賑やかな一方、ゆとりのある会場づくりで、ソーシャルディスタンスが取りやすく、安心して参加できた！
- ・新型コロナウイルス感染症拡大以来、久しぶりの大規模イベントで、楽しめました。
- ・地元の作物に小麦があることを初めて知りました。
- ・このイベントに来て、久しぶりに会えた近隣の知り合いがいた。話が盛り上がり嬉しかった。

適切な維持管理を行うための取り組み

2

サクラの健全な成長を促す為に土壌改良を実施！

3-③ No.1

STEP① 外観診断・機器診断の実施



作業前に実施した診断カルテ

STEP② 水圧穿孔法による灌注作業



エンジンポンプを用いた灌注作業

灌注作業用資機材

STEP③ 土壌改良材の投入



液肥に漬けた竹材に固形肥料をまぶしたものを用意

土壌改良材投入状況

▶ サクラの花付きが悪くなってきた為、**樹木診断を実施**。樹勢は悪いが今なら回復の見込みがあるとのことで、今回の土壌改良を実施。

▶ 根を傷つけないように水圧を利用し、固結した土壌をほぐし、**透水性と通気性を改善**することで根の生長を促す環境を整えた。

▶ 穿孔箇所には施肥を行い、**土壌中の微生物の活動を促す**ことでより良い土壌環境を創出。**サクラの健全な成長と樹勢回復を図った。**

自然災害を未然に防ぐための安全対策

3

地域の力を結集！3年ぶりに「防災キャラバンin六仙公園」を開催！

3-② No.1 3-③ No.34,35,36,39

- ▶ **小学校跡地**という立地特性を活かし、「防災」をテーマとした公園中心の地域コミュニティを構築するため「**防災キャラバンin六仙公園**」を実施。地域関係者や地元自治体などが参加する「**防災キャラバンin六仙公園実行委員会**」が主体となって企画から実施まで行い、**地域防災力の向上に貢献**した。
- ▶ 実行委員会の構成団体がそれぞれの強みを活かして、スタンプラリー、ワークショップ、物販等、**「楽しむ」「学ぶ」「遊ぶ」**の3つのキーワードでプログラムを展開。**主体的な体験をしながら災害時に役立つアイデアや情報を得られる場を提供**した。



チラシ



親子で楽しめる防災・減災スタンプラリーを実施



災害用トイレなど公園の防災機能について紹介



避難生活を体験するワークショップの実施

主催：防災キャラバンin六仙公園実行委員会（西武・武蔵野パートナーズ、東久留米市防災防犯課、防災マーケットチーム）
協力：キャンパルジャパン株式会社、図書印刷株式会社、映像音響屋、東久留米CPR友の会 後援：東久留米市

4

質の高いサービスを提供するための具体的な取組
ボランティアの力で公園を華やかに！

3-② No.10,30



▶ 園内11カ所の花壇を「**六仙公園花ボランティア**」と連携して継続管理。**グリーンアドバイザーの資格を持つスタッフ**が技術サポートを行い、**年間を通して公園が美しく彩られ**、来園者に変好好評だった。

5

災害時の救助等対応力を高める取組

各公園にセーフティリーダーを配置 **3 Parks**

3-① No.5



▶ 管理所のある3公園のスタッフが、**防災コーディネーター**が講師として実施している**災害救助ボランティア講座**を受講した。**セーフティリーダー**を配置し、**災害時の対応力を**高めた。

その他の取組 ※()内は様式16号の該当番号

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施(1)
- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施(2)
- ・レンジャーミニ図鑑とセルフガイド/タブレットガイド(20)
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映(1)
- ・生物多様性スポットの運用(6)
- ・スポーツコーディネーターによるスポーツ教室(20)
- ・施設点検の徹底と改修作業による施設の長寿命化(2)
- ・パークモニタリングアプリの運用(7)
- ・イベント「ちょいボラ」での花壇作業(22)
- ・市民参加型パークモニタリングシステムの運用(2)
- ・PLAY BOOKの配布(23)

など